

論文の種類について

- 総説：在宅ケアに関わる特定のテーマについて多面的に内外の知見を集め、また文献等をレビューして、当該テーマについて総合的に学問的状况を概説し、考察した論文
- 原著：在宅ケアに関する内容で、適切な方法論に基づいて実施され、独創的で新しい知見が認められる論文
- 研究：「原著論文」ほどまとまった形ではないが、研究結果の意義が大きく、在宅ケアの発展に寄与すると認められる論文
- 実践報告：在宅ケアに関する実践報告
- 資料：在宅ケアの分野において貴重な資料となるデータの提供

「日本在宅ケア学会誌」執筆要項

1. 原稿（総説、原著、研究、実践報告、資料）は、A4判、横書き、1頁40字×40行とし、本文、注、文献、図、表、写真すべて含めて8枚以内〔次項2-1）、2）を除く〕を厳守してください。図表（文字は原則9ポイント）は1点につき、大・1枚、中・1/2枚、小・1/4枚として換算してください。
2. 投稿に際しては、以下、1）～3）の順に揃えて1つの投稿用PDFファイルにまとめて作成してください。
 - <以下に含まない、著者の氏名、所属、連絡先等は、オンライン投稿画面において入力いただきます>
 - 1) 1枚目に、無記名で、①和文タイトル、②和文抄録（400字以内）、③キーワード（5語以内）、④原稿の種類。
 - 2) 2枚目に、無記名で、⑤英文タイトル、⑥英文抄録（300語以内）、⑦英文キーワード（5語以内）。実践報告については、英文抄録、英文キーワードを必ずしも付ける必要はありませんが、英文目次を作成する必要性から英文タイトルは必ずオンライン投稿画面に入力してください。
 - 3) 3枚目以降、無記名で、⑧本文（本文、注、文献、図、表、写真の順）。
 - <本文、注、文献、図、表、写真は、枚数換算のうえ、40字×40行×8枚以内に収めてください>
 - なお、本文頁には必ず通し行番号、頁下中央部には頁番号を印字してください。
3. 本文中の氏名、所属、倫理審査機関名、謝辞のほか、著者を特定することのできる事項は伏せて記載してください。
4. 図表は、本文とは別に1葉ごとにA4判に作成し、必ず図表の挿入箇所を本文に明記してください。なお、特別の作図などが必要な場合には、自己負担を求めることがあります。
5. 文章の形式は、新かなづかい、常用漢字にてお書きください。
6. 本文の見出し順位は、原則として以下のとおりとしてください。
 - I. II. III. . . .
 - 1. 2. 3. . . .
 - 1) 2) 3) . . .
 - (1) (2) (3) . . .
 - (a) (b) (c) . . .
 - ① ② ③ . . .
7. 引用文献は、次のとおり記述してください。
 - 1) 文献は日本語、外国語を問わず引用順に1)、2)、3) . . .、と番号を付けて文末にリストを記載し

てください。また、本文中の引用箇所(1), (2), (3)・・・, と肩番号を付してください。

2) 文献リストの記載方法は下記の例示によってください。

①雑誌の場合 論文著者名：論文名. 掲載雑誌名, 巻(号)：頁-頁(出版年).

雑誌名が欧文の場合は、イタリック体、もしくは下線を引いてください。

例1) 日本太郎, 新宿花子, 在宅太郎, ほか:在宅認知症高齢者のケア. 日本在宅ケア学会誌, 14(2)：25-32(2010).

例2) Nihon T, Shinjuku H, Zaitaku T, et al. : The measurement of life satisfaction. *Journal of Japan Academy of Home Care*, 14(2)：25-32(2010).

②単行本の場合

(1) 著者名：書名. 版数, 頁-頁, 出版社名, 発行地(出版年).

例1) 日本太郎, 日本花子, 在宅太郎, ほか:高齢者の睡眠と健康. 第2版, 15-26, ワールドプランニング, 東京(2010).

例2) Nihon T, Nihon H, Zaitaku T, et al. : Aging and cognitive processes. 2nd ed., 15-26, World Planning, Tokyo(2010).

(2) 著者名：論文名. (編者名) 書名, 頁-頁, 出版社名, 発行地(出版年).

例1) 日本太郎, 日本花子, 在宅太郎, ほか:高齢者の在宅ケアに関する実態調査. (神楽坂二郎, 新宿三郎編) 在宅ケア全集第7巻, 255-284, ワールドプランニング, 東京(2010).

例2) Nihon T, Nihon H, Zaitaku T, et al. : A present situation of home care for elderly. In The hand-book of home care, eds. by Kagurazaka J, Shinjuku S, Vol.7, 255-284, World Planning, Tokyo(2010).

③翻訳書の場合

原著者名：書名(版). 頁-頁, 出版社名, 発行地, 出版年(訳者名, 訳書のタイトル, 出版社名, 発行地, 訳書出版年). <原典の書名, 雑誌名はイタリック体, もしくは下線を引く>

例) Nihon T, Nihon H, Zaitaku T, et al. : Homes That Help. 25-30, Jam Press, New York, 2008 (神楽坂太郎, 牛込二郎, 四谷三郎, ほか訳, 認知症高齢者のための住環境; 在宅介護とは, ワールドプランニング, 東京, 2010).

④ホームページの場合

著者名：タイトル(URLアドレス, 検索年月日).

例) 厚生労働省：平成20年度介護サービス施設事業所調査結果の概況 (<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kaigo/service08/index.html>, 2010.3.15).

[注] i. 引用の場合には、出版社名の前、もしくは雑誌巻(号)の後に引用頁数を記載。

ii. 著者あるいは編者は、4名以上の場合は3名まで連記し、それ以上の著者名については“ほか”あるいは“et al.”とする。

8. 参考文献は、引用文献のあとに、参考文献として著者名のアルファベット順にまとめて掲載してください。記載方法は、文献リストに準じてください。

9. 注は、本文中の該当箇所の右肩に(1)(2)(3)・・・, と順番に番号を付し、本文の後にまとめて記載してください。

10. 図表は、図・表ごとに一括して順に番号をうち、図1, 表1のように表示してください。図または表の説明、出典等がある場合は、図表の下に必ず明記してください(オリジナルの場合は除く)。

11. 掲載にあたっては本誌編集方針に則って、漢字・平仮名表記の別など多少の原稿整理を行います。